

水土里ネットいわた用水 の取り組み

平成 25 年 3 月作成

水土里ネットいわた用水の取り組み

適正な水管理と均等な水配分調整 (Web カメラを活用した水管理システムの導入)



船明ダム 天竜川の取水施設



神増分水工



磐田用水中央管理センター



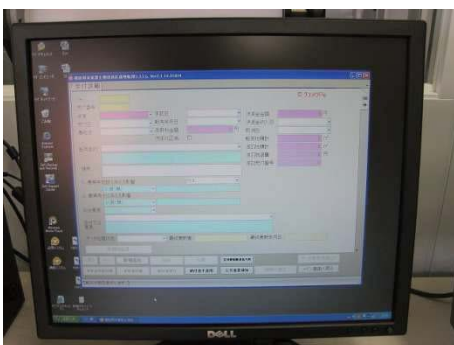
現場操作盤内のゲート操作

適正な水管理

昭和42年遠州平野の長年の夢であった天竜川からの安定的な取水を目的に農林水産省直轄事業及び国営附帯県営かんがい排水事業が開始され、昭和57年には浜松市天竜区船明にダムを建設して、天竜川左右岸の 8,000ha の農地に供給している。ダム本体は、電源開発株式会社、取水工及び左右岸導水路は、静岡県企業局が水管理システムを導入して、組織的に管理している。

改良区では、農業専用施設の維持管理と水利権に基づく均等な水配分調整を水管理システムを導入して用水需要に合わせて供給している。

受益管理システム(受益地データ・組合委員データ)



土地情報システム



地理情報システム

受益管理システム

均等な水配分を行うためには、水系毎、分水ブロック毎の受益面積を把握し、水系単位の用水量を計画的に供給する必要がある。受益地全域の地番図に受益情報を入力して、地図情報として管理することで、水配分調整の基礎データだけでなく賦課徴収の基礎データとして活用がしている。

水土里ネットいわた用水の取り組み

施設管理(ゴミの不法投棄・用水路敷地適正管理手法)



市街地のスクリーンに掛かったゴミ



ドーム型ネットフェンス設置



設置後の地域説明



用水路敷地の適正管理手法の確立

施設管理に関する手法

用水へのゴミの不法投棄に対応のドーム型ネットフェンスの設置と地域住民への啓蒙普及

用水路敷地の草刈作業を地域住民が実施した場合に農村景観保活動として㎡当たり25円を助成する。

用水路敷地の除草をハンマーキョッパーで、年間2回から3回実施することで不法投棄防止につながる。

資源の有効活用



ファームポンド堆積土の管理



耕作放棄地へ客土として利用



地域住民による農村景観保全活動



水路敷地の刈草の堆肥化

資源有効活用

揚水機場のファームポンドから発生する堆積土の浚渫作業を凝集剤使用により短時間且つ匂いを抑え処理する。又、堆積土は耕作放棄地解消後の農用地の客土として活用している。

農村景観保全活動で発生した刈草を堆肥や液肥製造して、有機農業をしている農家や田んぼの楽校に取り組む地域活動組織に提供している。

水土里ネットいわた用水の取り組み

水田環境調査



小学校での出前環境学習



大学の協力による生きもの調査



田んぼの周りの生き物調査



排水路ワンド調査

水田環境調査

田んぼの周りの生きもの調査を継続的に実施
いわた用水 HP を活用して、生きものとんまえ隊を募集
いわた用水管内で年4回の調査とイベントを大学等と連携して開催
管内の小学校、公民館から生きもの調査、環境学習会の依頼を受けている

施設機能調査



水田環境調査(水路形状等)



水田魚道の設置



ふゆみず田んぼの実践

施設機能調査

田んぼの周りの生きもの調査をすると同時に生息環境を状況調査をしていくものである。かんがい期と非かんがい期では水路を流れる水量や水位が変わることで、非かんがい期である冬季に堰板を設置して背の高い魚類の生息できる環境づくりをしたり、ワンドなどの中の土砂の浚渫や大きな落差に魚道を設置してきた。又、田んぼを冬季湛水するふゆみず田んぼの試みを実施して生きものの生息状況を調査した。結果、生息しやすい環境を作り出すことで、個体数、個体種類など変化が見られた。

水土里ネットいわた用水の取り組み

啓蒙普及活動



水源地への感謝米贈呈



出前紙芝居



生きものブランド米のテスト販売



生きものブランド米の支援



生物多様性ブランドの認証シール

啓蒙普及活動

水源地へ感謝米の贈呈や子供向け
大型紙芝居の上演、生きものブラン
ド化への支援

防災対策



BCP 緊急資材置場



旧取水口を BCP 整備(産業遺産登録)

防災対策

BCP 策定に向けて緊急用資材
置場の設置、緊急用取水施設
の整備を検討